

# 英語の授業づくり（授業で大事にする5つのポイント）

西部教育事務所

2014年 2月

**学習指導要領** では、

「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、**4技能を総合的に（＝バランスよく）育成する指導の充実**が求められています。

**学習指導要領**に示されている**言語活動の指導事項**を確認しましょう。



**「単元で付けたい力」(単元ゴール)**を明確にすることで、授業が変わります！



	5つのポイント	英語の授業づくりのポイント
導入	1 めあての提示	何ができるようになるのかを提示する。
展開	2 課題追究	言語材料（語彙や文法事項など）について理解したり練習したりする活動と、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動をバランスよく位置づける。
		生徒が自ら考え、表現できる場面を設定する。
	3 学習状況把握	本時の付けるべき力が付いているか把握する。
終末	4 まとめ	本時のまとめや振り返りをする。
	5 次時の予告	次時の内容や家庭学習について具体的に示す。

1時間の中で必ず英文を書く時間を確保しましょう。

\*外国語科で目指す授業づくりについて、『高知県中学校外国語モデルプラン』の中の「授業改善のためのチェックリスト」も参考にしてください。

【参考資料】高知県教育委員会 小中学校課HP

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/eigokyouiku.html>

高知県中学校外国語モデルプラン

「5 外国語科で目指す授業づくりについて（1）授業改善のためのチェックリスト」を参照してください。